



**International  
Rugby  
Exchange**  
Japan - Thailand

# 日タイキッズラグビー交流2018 企画書

一般社団法人 子どもスポーツ国際交流協会  
2017年11月

# はじめに

## 「スポーツは言葉の壁を超える！」

スポーツの持つフェアプレーやスポーツマンシップといった世界的に共通する価値は、人種、民族、宗教などの文化の壁を越える力を持ちます。感受性豊かな子ども達が、このスポーツの力を活用して異文化に触れることは、大きな成長の機会となるでしょう。子ども達は、スポーツを楽しく本気でプレーする中で異文化を自然に体感できます。さらに、スポーツという言葉を通じて心と心を通じ合わせることができるのです。

2017年までに開催いたしました7回の日タイキッズラグビー交流では、ラグビーを通じて日本とタイの子ども達がひとつのボールを懸命に追いかけてきました。その中で彼らの心と心を通じ合い、笑顔が溢れ出す場面を数多く見る事が出来ました。この感動と喜びが日タイキッズラグビー交流を継続的に実施する我々の原動力となっております。

このように今回の企画は、好奇心旺盛な子ども達がスポーツを通じて人種、宗教、食事、言語、経済といった異文化を肌で感じ、同時に被災した子ども達が笑顔を取り戻せるよい機会になることを願って実施させて頂くものです。参加者の経済的負担を極力低減し、より多くの子どもたちが参加出来るよう、交流に関する費用に対して各方面からのご助力、ご支援をいただけるよう準備を進めております。

本趣旨をご理解頂き、ご協力賜わりますようお願い申し上げます。

一般社団法人子どもスポーツ国際交流協会  
代表理事 向山 昌利

# タイキッズとの交流

## ◆ 交流の始まるきっかけ

一般社団法人子どもスポーツ国際交流協会 理事代表の向山昌利が2008年、タイ在住の日本人ラグビークラブからの要請を受け、タイの子どもたちにラグビーを教えたことがきっかけとなり交流が始まりました。「心身の健康を増進するだけでなく、国際交流の一つのツールとしてスポーツを活用したい、子ども達にとって将来の糧となる体験をしてもらいたい」という思いが軸になっています。

## ◆ なぜスポーツ、そしてなぜラグビーなのか？

2011年スポーツ基本法が成立し、「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営む権利」がわが国で初めて認められました。つまり、スポーツの持つ『フェアプレイ』や『スポーツマンシップ』といった価値が人と人をつなげる素地となり、幸福で豊かな生活の基盤として認められたともいえるでしょう。

ラグビーは別名「闘球」と言われるほど激しいコンタクトスポーツですが、フェアプレーの精神を大切に体と体をぶつけ合うことができれば、楽しいコミュニケーションを育む究極のボディラングウェッジとなります。またラグビーの持つ大きな価値である「One for All, All for Oneの精神」が人種、国籍を超えた友情へとつながる触媒ともなるのです。



# 開催概要(予定)

目的	国際的視野で多様性を認め合う能力を獲得する 「異国のこと、日本のことを知る」、「生きた語学の習得」、「たくさんの友人づくり」
参加資格	小学校4年生から6年生 合計30名(日本側のみの人数)
来日チーム	Vajiravudh College他 20名 (タイラグビー協会協力)
日程	2018年3月23日(金)～25日(日)
主催	一般社団法人 子どもスポーツ国際交流協会
主な活動	ラグビー交流、合同宿泊、文化交流
協賛 協力 (予定)	東洋証券、ストックウェザー、タイ大林、ファイナンシャルブレインシステムズ、丸和運輸機関、ネットビジョン、清水企画、東洋機器製造、NVS、トリコロール、共栄船渠、ストロングハート、Thai Barbarians Rugby Club、NECグリーンロケッツ、松葉町5-1自主防災組織、流通経済大学、龍ヶ崎市役所
後援 (予定)	観光庁、在京タイ王国大使館、日本タイ協会、日本ラグビーフットボール協会、タイラグビー協会
認定 (予定)	当事業はスポーツ・フォー・トゥモロー認定事業として認定されています。

# 交流スケジュール

3/23 15時 開会式  
(金) プロジェクトアドベンチャー  
(流通経済大学 寺中先生)  
懇親会  
合同宿泊(流通経済大学宿舎)



3/24 タグラグビー大会(龍ヶ崎市小学生参加予定)  
(土) ラグビー合同練習(日タイ混合チームにて編成)  
翌日の親善試合に向けてミーティング  
懇親会  
日本とタイカレーの食べ比べ  
合同宿泊(流通経済大学宿舎)



3/25 常総ラグビー祭  
(日) ラグビー交流戦  
15時 閉会式

# 今後の計画

目的	ラグビー交流を通じた異文化理解	
長期目標	参加した子どもたち自らによる本交流の企画運営の実現	
中期目標	2019年ラグビーワールドカップ開催に合わせ、キッズワールドカップの実施	
実施計画	<日本受入れ>	毎年春実施
	<タイ渡航>	隔年で実施（2018年夏、2020年夏、2022年夏・・・）
費用負担に関する基本方針	<日本受入れ>	参加者の自己負担 受け入れの際に必要な諸経費は支援組織（者）からの支援金で補う
	<タイ渡航>	参加者の渡航費は自己負担 安全管理上不可欠な実行委員ならびにスタッフ（ラグビースクールコーチ含む）の参加費は支援組織（者）からの支援金で補う



# 一般社団法人 子どもスポーツ国際交流協会

**設立目的** 本協会は、スポーツを活用した諸活動を通じ、健全な心身の創出、活力に満ちた社会の創造スポーツが持つ社会的価値の発信を実現し、幸せな生活の獲得に寄与する。

**活動領域**

- (1) 社会教育の推進を図る活動、まちづくりの推進を図る活動
- (2) 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
- (3) 国際協力の活動
- (4) 子どもの健全育成を図る活動
- (5) 上記に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関わる連絡、助言又は援助の活動

**所在地** 〒301-8555 茨城県龍ケ崎市120 流通経済大学向山研究室

**組織**

代表理事	向山 昌利 (流通経済大学)
理事	繁田 富久男 (千葉県ラグビーフットボール協会)
理事	牛山 啓二 (株式会社ジェネック)
理事	竹内 実里